

**【施策評価調査】**

施策名	2-1-2	運動習慣づくり	85	施策目的	楽しく身体を動かし、体力をつけます。 運動や身体活動の重要性を理解し、自分にあった運動習慣を身につけます。 ウォーキングやストレッチ体操を日常生活の中に取り入れ、身体活動を増やします。 ・生活習慣病の予防と改善のためには、正しい食生活と併せた運動習慣づくりが重要である。さらに、介護予防対策としても高齢者の筋力アップのため、手軽に誰でも、どこでもできるウォーキングやストレッチ体操の普及が必要である。
担当部課	住民生活部 健康福祉課	担当 リーダー	健康づくり担当 荻原 敏子	施策内容	生活習慣病予防のため、住民、学校、保育園・幼稚園、行政が協力して、住民が気軽に運動できる環境の整備に努め、定期的に運動する習慣を促します。また、運動習慣が継続することにより、高齢者の筋力アップや転倒による寝たきり予防にも繋がります。(※「高根沢町地域経営計画2006」からの抜粋)
環境変化	特になし				

**■指標**

施策の評価指標	基準値	年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
指標①: 定期的に汗をかき運動をしている人の割合(%)	生活習慣調査-H16.9実施	計画	40.0%	43.0%	45.0%	47.0%	50.0%
	38.3%	実績	↓ 38.30%	↓ 31.60%	↓ 35.70%	↓ 36.00%	
指標②: 筋力アップ事業参加者数(人)	H16年度実績	計画	340人	450人	560人	600人	700人
	211人	実績	↑ 989人	↑ 1,200人	↑ 1,711人	↑ 1,618人	
◆◆ 指標に関する特記事項 ◆◆							

施策に係る事業費(傘下事務事業費計)の推移	年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
	当初	150,000	206,000	298,000	282,000	
	決算	135,744	196,968	252,000	160,965	

**■事務事業事後評価 21年度の検証**

施策傘下事務事業	事業費	活動量(アウトプット)	施策への貢献度	施策達成にどう貢献しましたか? (アウトカム)			
①運動に関する普及啓発事業費	当初 282,000	ポイント取得による表彰者	A	定期的に運動を行うことにより生活習慣病予防となり、健康度がアップする。疾病の重症化防止や高齢者の寝たきり予防につながる。			
	決算 160,965	140名 / 100名		今後の方向性(自己評価)	継続	今後の方向性(総合評価)	継続
②	当初						
	決算	/		今後の方向性(自己評価)		今後の方向性(総合評価)	
③	当初						
	決算	/		今後の方向性(自己評価)		今後の方向性(総合評価)	
④	当初						
	決算	/		今後の方向性(自己評価)		今後の方向性(総合評価)	
⑤	当初						
	決算	/		今後の方向性(自己評価)		今後の方向性(総合評価)	

**■施策事後評価 21年度の検証**

	施策達成状況に関する評価	課題と今後の方向性
自己評価	徐々にではあるが参加者が増えている。リーダーが多く、リーダーからのロコミで徐々に広がっている。教室の内容が住民のニーズに合っていると思われる。	教室以外での運動に積極的に取り組む人が増えていけば運動習慣がついてきたと評価できると思うが、まだまだ教室のみの参加という人が多い。リーダーがいることは喜ばしいことであるが、固定化してしまっている広がっていない。自主グループの立ち上げや次のステップの教室が必要と考える。
総合評価	健康づくりの観点から、継続的に施策展開されていると評価する。ただし、現状のデータを把握し広く分析した上で、きっかけから習慣に結びつけるために生涯学習課との連携方法を検討すること。また、特に運動していない人をどう運動するきっかけへと誘導させるのか、常に意識した施策展開を検討すること。	